

ヨーロッパ市民の形成/育成と現在の到達点

講師



安江 則子 (Noriko Yasue) 立命館大学政策科学部 教授

立命館大学政策科学部教授、慶應義塾大学大学院法学研究科修了、パリ第1大学DEA修了、博士(慶應義塾大学・法学)。専門はEU研究、グローバルガバナンス研究。フランスの他、イタリアやベルギーで在外研究。主著は、『ヨーロッパ市民権の誕生』(1992年丸善ライブラリー)、『欧州公共圏』(2007年、慶應義塾出版会)、『EUとフランス』(編著、2012年、法律文化社)、『EUとグローバルガバナンス』(編著、2013年、法律文化社)など。



西山 教行 (Noriyuki Nishiyama) 京都大学人間・環境学研究科 教授

京都大学人間・環境学研究科教授。専門は言語教育学、言語政策、フランス語教育学。日本フランス語教育学会会長、日本言語政策学会副会長。共編著に『CEFRの理念と現実』理念編、現実編(くろしお出版2021年)『グローバル化のなかの異文化間教育』(明石書店、2019年)マルティンス・プレッセル著『異文化間教育』(西山教行訳、白水社、2021年)など。



大津 尚志 (Takashi Otsu) 武庫川女子大学学校教育センター 准教授

1999年東京大学教育学研究科博士課程単位取得退学、中央学院大学商学部専任講師などを経て、武庫川女子大学学校教育センター准教授。専攻、教育学。
主要業績:『フランスの道徳・市民教育』(単著、晃洋書房、2023年9月刊行予定)、『校則を考える』(単著、晃洋書房、2021年)、『18歳を市民にする高校教育実践』(共著、大学図書出版、2019年)、『だれが校則を決めるのか 民主主義と学校』(共著、岩波書店、2022年)ほか。

コメンテーター



小畑 理香 (Rika Kobata) 大阪大学人間科学研究科 助教

大阪大学大学院人間科学研究科助教。神戸大学大学院国際文化学研究科博士後期課程修了。博士(学術)。専門は、高等教育分野におけるヨーロッパ統合。
主な業績:「国境を越える学生モビリティと高等教育分野におけるヨーロッパ地域協力の歴史的展開」『国際政治』第191号(2018年)、「高等教育分野におけるEUと欧州高等教育圏(BHEA)の協働—学生モビリティ促進のためのベンチマークの事例から」『日本EU学会年報』第43号(2023年)

挨拶



岩田 健治 (Kenji Iwata) 九州大学理事・副学長

1960年生まれ。東北大学文学部卒業。同経済学研究科博士課程単位取得退学。博士(経済学)。2015年より九州大学EUセンター長、2022年より同副学長、附属図書館長。2022年10月より現職。
日本EU学会理事長、九州大学大学院経済学研究院院長を歴任。専門はEU統合、国際金融。著書『現代ヨーロッパ経済 第6版』(共著、有斐閣、2022年)他。

司会、コメンテーター



蓮見 二郎 (Jiro Hasumi) 九州大学EUセンター長、九州大学大学院法学研究院 教授

1973年生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。ケンブリッジ大学大学院教育学研究科博士課程修了。PhD (Education)。2010年、九州大学大学院法学研究院准教授。2021年より現職。2022年12月より九州大学EUセンター長。専門は、政治理論、特にシティズンシップ教育。著書『政治リテラシーを考える—市民教育の政治思想』(共著、風行社、2019年)他。